

山城地域振興計画（中間案）の概要

1 計画策定の趣旨

長期ビジョンでめざす京都府社会の実現に向け、山城地域の資源や特性をいかした地域振興を進めるため、地域の実情を踏まえた将来像を描き、それを実現するための方策を示す。

2 地域の特性

7市7町1村、総面積約554km²（京都府面積約4,613km²の約12%）

地域の人口約71万人（京都市除く府内人口約114万人の約62%）

※地域ごとの特性については、「■地域特性をいかした施策の展開」で記載。

3 地域の将来像

～ひとりひとりが安心とにぎわいを実感できる希望の山城づくり～

- ① ひとりひとりが支え合い、だれもが安心して暮らせる地域
- ② 思いやりにあふれ、だれもがいきいきと活躍できる地域
- ③ 人、もの、情報の交流を通じた、にぎわいを実感できる地域

4 施策の基本方向

① 府民の暮らしを支える安心・安全の確保

- ハード、ソフト両面からの総合的な防災対策の推進
- 新型インフルエンザなど緊急の健康危機に強い体制づくり

② 地域の活性化と交流を進める交通基盤など社会基盤整備の推進

- 山城地域の明日を拓く広域交通基盤の整備
- 新名神へのアクセスをはじめとする域内連携基盤の整備

③ 「お茶の京都」等による、農林業や中小企業など地域を支える産業振興と新たな観光、地域交流の推進

- 生産振興、消費拡大と地域活性化を総合的に進める「お茶の京都」づくりの推進
- やましろの中小企業と農業を地域の未来を支える産業として活性化
- 観光入込客数1.5倍、観光消費額2倍増をめざして、「歴史」、「文化」、「産業」等、地域密着型観光の新たな展開

④ 少子・高齢化への戦略的対応と生涯健康づくり

- 住環境、子育て、医療、雇用等少子化対策を総合的に推進
- 障害者や高齢者などだれもが安心して暮らせる地域づくり
- 乳児期から高齢期まで生涯を通じた健康づくり

⑤ 地域文化の継承・発展と環境保全、郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

- 豊かなやましろ文化の継承と発展
- 「東京オリンピック」「関西ワールドマスタースゲームズ」に合わせた文化事業の総合開催
- 郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

■ 地域特性をいかした施策の展開

①乙訓地域

- ・企業の集積をいかした新産業の創出
- ・「竹」資源を活用した観光、6次産業化など、多彩な関連プロジェクトの展開
- ・乙訓ならではの多様な資源を活用した、多目的型ツーリズムの展開

②山城中部地域

- ・災害への対応と利便性の高いまちづくり
- ・整備が進む交通基盤等をいかした観光、産業立地の推進
- ・安心して子供を産み育てられる環境づくりと高齢化対策

③相楽地域

- ・「お茶の京都」による特に相楽東部の景観対策の推進と、居住・交流人口の増加策
- ・歴史、文化、自然等の魅力を総合的にネットワーク化
- ・「学研」の魅力向上、発信、連携、イノベーションの推進

5 具体的施策

※具体的施策の展開に当たっては、他の項目にある施策と一体で進めていきます。

(1) 具体的施策の展開

① 府民の暮らしを支える安心・安全の確保

◎豪雨、地震等の災害への適切な対応による被害の最小化

- ・被害リスクが高い箇所の対策を重点的に実施し、被害を最小化 等

(ア) 河川・砂防施設等の計画的な整備

- ・老朽化が進んでいる河川護岸等の危険箇所内策を実施
- ・国、府、市町と役割分担しながら適切な内水対策を実施 等

(イ) 緊急時の道路交通機能の確保、道路の防災対策の推進

- ・バイパスの整備や斜面对策等を実施
- ・道路斜面の崩壊防止や橋梁の耐震補強など防災対策を実施
- ・防災拠点施設の耐震化、地震想定被害の「見える化」 等

(ウ) 農地・農業用施設の防災対策の推進

- ・農業用排水路の改修整備、老朽ため池の改修整備を推進 等

(エ) 行政・住民連携による地域防災力の向上

- ・リアルタイムの情報提供、イベント開催等による防災意識の醸成
- ・警戒区域や特別警戒区域の指定を推進
- ・市町村等と連携した総合防災訓練等による防災意識の向上、地域防災リーダーの養成 等

(オ) 安全な歩行空間の確保

- ・通学路等地域の生活密着道路における安全な歩行空間の確保

(カ) 適正な維持管理

- ・長寿命化計画を基に、道路、河川、砂防、公園の各施設に関する実施計画を策定し、メンテナンスサイクルを構築。

◎様々な人権問題の解決に向けた取組の推進

- ・ひとりひとりの尊厳と人権の尊重をあらゆる施策において推進
- ・人権強調月間、人権週間の期間中における重点啓発

◎健康危機に強い山城づくり

- ・大規模災害発生時の医療救護活動の実施体制の確保
- ・健康危機発生時に向けた訓練等を実施し、関係機関の対応を強化
- ・新型インフルエンザ等の発生に備えた医療体制の構築
- ・住民への啓発や要配慮者の生活支援など、市町村等関係部署との協議を実施

② 地域の活性化と交流を進める交通基盤など社会基盤整備の推進

◎広域交通網の整備促進

- ・新名神、JR奈良線高速化・複線化第二期

◎新名神供用に合わせた交通網の整備促進

- ・新名神八幡・城陽間の供用時期に合わせたアクセス道路の整備

◎JR奈良線高速化・複線化第二期に合わせた道路・河川整備の推進

- ・複線化のメリットをいかした利便性の高いまちづくりを推進

(ア) 学研都市のまちづくりや交流・活動を支える基盤整備の推進

- ・産学公連携、新産業の創出、交流人口の増加、安心・安全なまちづくりのため、交通基盤、河川等の整備を促進

(イ) 生活道路等の整備促進

- ・地域に密着した生活道路の整備、交差点の渋滞・事故対策の推進 等

(ウ) ソフト施策の推進

- ・市街地における歩行空間や自転車走行空間の創設
- ・公共交通のサービス向上の促進

(エ) 道路の日常的な維持管理に係る住民協働の推進

- ・さわやかボランティアロード活動のさらなる充実 等

③ 「お茶の京都」等による、農林業や中小企業など地域を支える産業振興と新たな観光、地域交流の推進

3-1 「宇治茶の郷づくり」

◎「お茶の京都」づくりをめざし、次の施策を推進

(ア) トップブランドとしての宇治茶の生産振興の推進

- ・茶業研究所機能強化、優良品種への転換、被覆棚設置、宇治茶GAP導入、急峻茶園改良整備、担い手育成 等

(イ) 宇治茶の消費拡大の推進と「にぎわい」創出

- ・「ほんまもん宇治茶体験ツアー」をはじめ、国内外の幅広い層にフェイスブックや「宇治茶まつり」開催により魅力を発信し、にぎわいを創出 等

(ウ) 「宇治茶きらめき街道（仮称）」の整備の推進

- ・茶畑景観にマッチした道案内、ビューポイント設置、修景整備

3-2 「やましろ観光」の推進

(ア) 地域資源の魅力をテーマごとに磨きあげた観光施策の推進

- ・歴史遺産、特産品、産業文化といった物語性、テーマ性をもつ豊富な地域資源を活用し、旅行者のニーズに応じた広域的観光事業を推進 等
- ・交通アクセスが飛躍的に向上する中、中京圏、阪神圏、府北部地域をターゲットとした観光誘客の実施 等

(ウ) やましろの歴史・文化を集中的に発信し、継続したキャンペーンを展開

- ・若い世代と連携、SNSを活用した情報発信強化、英語版HP開設、多言語表示看板設置
- ・地域と歴史・文化を紡ぐキャンペーン等を展開 等

(エ) 広域観光連携事業の推進とインバウンド対策の強化

- ・観光関係団体のニーズに合わせ、柔軟で機動的な連携体制による観光振興
- ・インバウンド対応強化 等

3-3 元気な企業づくりの推進と雇用対策

(ア) 元気な中小企業づくり

- ・京都版エコノミックガーデンングとして、市町村や産業支援機関と連携し、ものづくり企業や商店等への訪問活動を強化し、課題に対応したサポートを実施することにより、企業のブランド力強化 等

(イ) 学術研究施設の集積をいかした産学公連携の推進

- ・異業種交流ネットワーク、企業や研究者による「元気な企業」の視察、大学や学術研究機関等の研究内容や成果を企業に紹介する「スタディーツアー」などを通じて、産学公連携を促進 等

(ウ) 「京都イノベーションベルト」等の推進

- ・「京都イノベーションベルト」推進、「関西イノベーション国際戦略総合特区」活用による企業創出

(エ) オープンイノベーションセンター機能の整備推進

- ・「けいはんなオープンイノベーションセンター」において共同研究等の施策を推進

(オ) 企業誘致の推進と立地企業の定着

- ・関係機関との調整等をワンストップでできる体制を強化し、山城地域のポテンシャルの高さを首都圏等へ発信
- ・城陽市東部丘陵は、あり方検討委員会で示された方向性のもと、将来の社会・経済動向や需要を見極めながら段階的に整備を推進

(カ) 雇用対策の推進

- ・元気な企業づくりの取組を通じて、中小企業の基盤を支え、地域雇用の確保に努める。
- ・市町村等と連携した企業誘致を促進し、雇用創出を図る。
- ・「山城地域雇用創出活力会議」「乙訓地域雇用創出活力会議」等の活用

3-4 特色ある農産物づくりと担い手対策の推進

(ア) 安心・安全で新鮮な農産物の生産・供給体制の強化（地産地消の推進）

- ・「やましろ新鮮野菜プロジェクト」により、地域ブランド「京やましろ新鮮野菜」の「生産力」「知名度」の向上を図る
- ・「山城ごちそうさんプロジェクト（仮称）」など地域全体で地産地消を推進。「やましろ野菜直売所ネットワーク」をいかした魅力ある直売所づくりを支援。

(イ) ブランド京野菜の産地づくりの推進

- ・生産者の所得向上と規模拡大を支援し、ブランド京野菜の産地づくりを推進

(ウ) 地域農業を支える担い手の確保・育成と6次産業化の推進

- ・野菜産地担い手養成塾や就農業者基礎講座を開催し農業者や農家を育成。
- ・農地中間管理事業等を活用した、農地集積による担い手農家の規模拡大や新たな担い手の就農支援

- ・アグリビジネス地域ネットを活用した農業者・商工業者の連携や、6次産業化による新たな農業ビジネスの展開等を支援

(エ) 乙訓地域における取組

- ・乙訓地域の特産野菜の産地維持のため、担い手への技術支援や大学との連携した技術開発
- ・常設直売所設置に向けた検討会、合同朝市開催等、地産地消推進を支援

3-5 豊かな森と里づくり

(ア) 京都農村再生運動の推進

- ・「命の里」づくりを推進し、農家民宿、地元農産物を活用した加工品開発など農業ビジネスを導入、空き家への移住促進

(イ) 有害鳥獣対策の推進

- ・進入防止策の設置や新規狩猟者の確保、捕獲技術向上による個体数調整を推進

(ウ) モデルフォレスト運動のさらなる拡大

- ・モデルフォレスト運動のセカンドステージの取組推進

(エ) 地産地消型林業の推進

- ・地産地消型林業をめざす「京都林業ルネサンス事業」の推進 等

④ 少子・高齢化への戦略的対応と生涯健康づくり

4-1 だれもが安心して生活できる環境づくり

(ア) 少子化への総合的対応

(イ) 地域の子育て支援

- ・子育て支援団体など関係機関の連携による「地域の子育て力」の向上、待機児童ゼロ実現

(ウ) 児童虐待の防止

- ・南部家庭支援センター、市町村等と連携した児童虐待の早期発見 等

(エ) 障害のある人の地域生活支援

- ・発達障害の早期発見と早期療育支援のネットワーク構築
- ・地域課題克服のための活動強化
- ・障害のある人の製品の販売支援 等

(オ) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

- ・府営住宅模島団地をモデル地区としてユニバーサルデザインのまちづくりを推進

(カ) 生活困窮者への支援

- ・生活・就労に関する支援員を配置し、ワンストップ型相談窓口によりひとりひとりの状況に応じた支援 等

(キ) 自殺予防対策

- ・府自殺ストップセンターと連携して相談ネットワークを構築 等

4-2 高齢者が安心して暮らせる地域づくり

(ア) 地域包括ケア体制の整備・推進等

- ・地域包括ケア体制整備の推進
- ・認知症対策の推進

(イ) 地域のつながりを深め、支え合うための環境づくりの推進

- ・地域力再生プロジェクト支援事業交付金による支援、プラットフォームへの参画、「まちの公共員」配置 等

4-3 生涯を通じた健康づくり

(ア) 生涯を通じた健康づくりの推進

- ・学校保健や市町村と連携した、乳幼児・思春期・青年期層からの健康づくりの推進
- ・市町村、産業保健、住民グループと連携した働き盛り層や高齢者層への健康づくりの推進等

⑤ 地域文化の継承・発展と環境保全、郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

5-1 文化・スポーツや環境の継承・創造

(ア) 地域文化の振興と文化を担う人づくり

- ・山城地域特有の様々な文化の振興、継承、次世代を担う人づくりを推進 等

(イ) スポーツ交流の推進

- ・山城総合運動公園を整備し、スポーツ振興拠点の形成を推進
- ・市町村と連携し国際的なスポーツ大会を誘致
- ・スポーツ観光の聖地づくりを推進 等

(ウ) 東京オリンピックなど国際大会の開催に合わせた文化の発信

- ・国内外からの来訪者に向け山城文化を発信する事業を展開

(エ) 文化力による活気ある「やましろ」づくり

- ・音楽、芸能、芸術、生活文化など様々な自主的な市民文化活動を支援

(オ) 多様な自然の特性に応じた保全

- ・歴史的自然環境、竹林や里山、河川、水辺等様々な自然環境をそれぞれの特性に応じて適正に保全 等

(カ) 農山村の良好な景観の保全・創造

- ・茶畑や竹林などの景観を地域住民とのパートナーシップなどにより守り育てる取組を推進 等

(キ) 事業所の環境対策の支援

- ・環境情報提供ネットワークを活用し、登録事業所等へ環境情報を発信 等

(ク) 水辺環境の整備

- ・親水空間の整備の推進 等

(ケ) 多様なニーズに対応する空間の創出

- ・木津川運動公園、淀川三川合流域における河川公園等の整備を促進 等

5-2 郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

(ア) 社会総がかりで子どもを育てる環境づくり

- ・子育て関係機関団体等のネットワークを充実させ、社会総がかりの子育てを推進 等

(イ) 科学好き・ものづくり好きの子どもの育成

- ・子どもたちに最先端の科学技術や本物のものづくりに触れる機会を提供し、科学好き・ものづくり好きの子どもを育成 等

(ウ) 感性を磨き「ことばの力」を豊かにはぐくむ読書活動の推進

- ・「ファミリー読書」などにより、読書活動を推進 等

(エ) ふるさと意識の醸成

- ・「地域学習」の推進や各種施設の活用により、地域に誇りを持つ子どもを育成 等

(オ) 児童生徒の体力の向上

- ・ 駅伝開催や総合型地域スポーツクラブなどの活用による子ども達の体力向上

■地域特性をいかした施策の展開

<乙訓地域>

(ア) 地域特性

- ・ 中央部は平坦で緑豊かな田園、住宅地、工業地帯を形成
- ・ 東南部を桂川が流れ、木津川、宇治川と合流し、淀川三川合流域を形成
- ・ 京都と大阪を繋ぐ交通の要衝であり、鉄道、高速道路など基幹的交通施設が集中
- ・ 天王山など歴史的舞台や歴史的史跡・名勝に恵まれ、品質の高いタケノコも有名

(イ) 具体的施策・方向性

○新しい社会基盤を活用した交流の推進

- ・ 府北中部・南部との連携、「京都・西の観光」の推進、阪神圏、中部圏からの誘客推進、観光資源の整備、ブラッシュアップ、NHK大河ドラマ誘致推進などの話題づくり

○乙訓の特産品を活用した産業振興

- ・ 乙訓竹プロジェクトの推進、都市型農業の推進等

○安心・安全のまちづくり

- ・ 安心・安全のための基盤づくり、安心・安全のまちづくり、高齢者・子ども・障害のある人など、だれもが安心して生活できる地域づくり

○文化芸術の伝承・発展

- ・ 乙訓地域の歴史・文化に根ざした行事・行列の保全の取組や、文化活動などを支援

<山城中部地域>

(ア) 地域特性

- ・ 木津川右岸の南東部は主に中山間地であり、大部分が林野で平坦地は僅少
- ・ 山城盆地の中央部にあり、西部の巨椋池は、一大遊水池を形成していたが、干拓事業により水田化
- ・ 第二京阪道路の開通により交通アクセスが向上しており、国道沿線を中心に、機械金属、食料品製造業等の事業所が多数立地
- ・ 平等院、石清水八幡宮等歴史的遺産が多数あり、観光資源として活用

(イ) 具体的施策・方向性

○豪雨災害への適切な対応による被害の最小化

- ・ 古川の河川改修、弥陀次郎川の切り下げ工事完了、土砂流出発生箇所の土砂流出・流木流下の防止工事推進

○利便性の高いまちづくりの推進

- ・ 高速道路へのアクセス道路整備、JR奈良線高速化・複線化第二期に合わせた道路拡幅等

○交通基盤を利用した交流の活発化

- ・ 観光資源の魅力を高める施策の推進、産業施設等の立地促進

○「お茶の京都」づくりの推進

- ・ 宇治茶の消費拡大、価値向上、ファン拡大の取組を展開、「宇治茶きらめき街道(仮称)」の整備推進

○農産物づくりと担い手対策の推進

- ・ 農の担い手対策を推進し、6次産業化等新たな農業ビジネスの展開を支援

○少子・高齢化対策

- ・安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進
- ・認知症疾患医療センター等関係機関とのネットワーク構築、認知症初期対応型カフェ設置等を支援し、早期発見・早期対応の体制確立

<相楽地域>

(ア) 地域特性

- ・西部から南部にかけては関西文化学術研究都市が広がり、最先端の研究施設が立地
- ・東部は、山林地帯が多く、丘陵・傾斜地では全国に誇る宇治茶の生産地を形成
- ・近鉄京都線、JRの交通の便はよいが、JRの非電化区間が課題
- ・木津川、笠置山、茶畑など豊かな自然環境と浄瑠璃寺、岩船寺、海住山寺等歴史的遺産に恵まれている

(イ) 具体的施策・方向性

「お茶の京都」、世界遺産、科学等の学術文化をいかした発進力・集客力ある拠点形成

○「お茶の京都」づくりによる観光交流拠点形成とネットワーク化

- ・世界遺産登録をめざす「宇治茶生産の景観」の維持
- ・宇治茶生産の品質維持、スイーツ等を含めた産業活性化
- ・茶畑景観や生活に根付いた喫茶等、宇治茶魅力の発信
- ・観光客の最初の目的地となる道路等修景整備と拠点形成
- ・「茶源郷」、「道の駅」、「温泉施設」など相楽地域の市町村の拠点形成事業との連携

○歴史的遺産、学研、自然を活用した魅力のネットワーク化

- ・豊富な遺産のネットワーク的活用
- ・学研都市における先進科学や研究成果という産業観光コンテンツの活用
- ・「茶源郷」、「道の駅」、「温泉施設」など相楽地域の市町村の拠点形成事業との連携 <再掲>
- ・サイクリング環境をいかしたスポーツ観光

○他圏域との交流や域内交通促進のための基盤整備

- ・他圏域と東西南北軸で結ぶ道路等のアクセス整備と域内交通手段の充実
- ・宇治茶きらめき街道整備や地域主導型公共事業等のハード整備

都市と農山村交流による、子育てを含めた暮らしやすい居住教育環境の確保

○急速に進展する超高齢社会に向けた対応

- ・「地域包括ケア推進ネット」による相楽地域の実情に応じた地域包括ケアの着実な推進
- ・認知症疾患医療センターを核とした認知症対策の推進
- ・健康寿命を延伸させるための相楽地域の市町村における健康・予防事業の取組強化 等

○少子化・人口減少社会に向けた対応

- ・芸術家や若者など農山村に魅力を持つ人たちの受け入れ促進
- ・安心して子育てのできる地域としての発信と三世帯居住の奨励 等

■地域の重点プロジェクト

(ア) お茶の京都構想

山城地域は、茶生産地として最も長い歴史を有し、素晴らしい景観を形成するとともに、現在も最高品質の緑茶の産地であり、これまで進めてきた「宇治茶の郷づくり」や世界文化遺産登録に向けた取組を発展させ、「宇治茶きらめき街道（仮称）」の整備などにより、生産振興、消費拡大、地域活性化を総合的に進める「お茶の京都」づくりをめざします。

(イ) 京都イノベーションベルト構想

地域の企業間の連携を進め、高度な技術と国際的な競争力を備えた製品開発などを重点的に支援し、京都経済の牽引エリアとしての一層の成長を促進します。

(ウ) 学術研究・未来の都構想

関西文化学術研究都市において、世界レベルの情報や環境、健康(医療)、農業(食)などに関する科学技術の粋を結集し、科学技術と生活文化が融合した新たな都市を創造します。

(エ) 環境・アグリバイオパーク構想

関西文化学術研究都市において、環境・アグリバイオの研究拠点を整備し、関連する研究機関や研究開発型産業施設が集積する国際研究開発拠点を形成します。

(オ) 京都乙訓ダイナミックシティーズ構想

乙訓地域3市町の都市連携により、観光、産業等の高次都市機能を集積させ、京都府の新たな成長核としてダイナミックに発展する地域を創出します。